

空間演出デザイン学科

学科理念・教育目標

空間演出デザイン学科は、「人間的自由に達するために美術・デザインを追求する」という本学の教育理念に則り、そのうえで、「造空思考で思索し、造空を学修することで、人間的自由に達すること」を教育目的とします。その目的のために、以下の2つの教育目標を掲げます。

1. 造空を学修することで人間的自由を思考し、かつ後進を指導するに適した教養をもつ人材の育成。
2. 造空学修に対し、常に先んじた学科となること。

造空思考とは、地と図という言葉で表現されるように、つくり出されたカタチには、必ずそのカタチを内包する空間が同時に作り出されると考え、そこにあるカタチと空間の関係を常に意識しながら創造を行う思考を示します。そして、そのつくり出されたカタチを含む空間を創造する行為を「造空」という言葉でとらえ、その「造空」について研究する思考を「造空思考」と定義します。

この理念の実現と目標の達成のために、空間演出デザイン学科では、以下の専門領域4コースが構成されており、コース各々、担当専任教員それぞれの独自の課題設定から、学生は自由に学修を希望し選択することが可能です。

造形学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

DP1	専門的な知識を理解し深めることができる。
DP2	専門分野の基礎となる文化や諸科学について総合的に理解している。
DP3	制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
DP4	他者に伝える表現能力および他者とともに考える対話能力を身につけている。
DP5	批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
DP6	論理的思考・創造的思考を働かせ、独自の課題解決の判断や構想ができる。
DP7	制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次
文化総合科目 I類	文化総合I類カリキュラムマップ			
文化総合科目 II類	文化総合II類カリキュラムマップ			
造形総合科目	I類必修	造形総合・絵画 I 造形総合・彫刻 I		
	I類選択必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II		
	II類	造形総合II類カリキュラムマップ		
学科別科目	I類必修	デザイン基礎 I デザイン基礎 II デザイン基礎IV	空間演出デザイン I 空間演出デザイン II 空間演出デザイン III 空間演出デザイン IV 実材実習 I 実材実習 II	
	I類選択必修	デザイン基礎 III 絵画 II 絵画基礎(映像メディア表現含む)		ゼノグラフィ A ゼノグラフィ B ゼノグラフィ C ゼノグラフィ D ゼノグラフィ E 空間 2(環境計画) A 空間 2(環境計画) B 空間 2(環境計画) C 空間 2(環境計画) D 空間 2(環境計画) E 空間 1(イテリテ ザイ) A 空間 1(イテリテ ザイ) B 空間 1(イテリテ ザイ) C 空間 1(イテリテ ザイ) D 空間 1(イテリテ ザイ) E ファッションデザイン A ファッションデザイン B ファッションデザイン C ファッションデザイン D ファッションデザイン E ゼノグラフィ F ゼノグラフィ G ゼノグラフィ H ゼノグラフィ I 空間 2(環境計画) F 空間 2(環境計画) G 空間 2(環境計画) H 空間 2(環境計画) I 空間 1(イテリテ ザイ) F 空間 1(イテリテ ザイ) G 空間 1(イテリテ ザイ) H 空間 1(イテリテ ザイ) I ファッションデザイン F ファッションデザイン G ファッションデザイン H ファッションデザイン I
	II類必修	空間演習デザイン論 製図 I	製図 II	
	II類選択必修	空間メディア論 I 空間メディア論 II	空間メディア論 III 空間メディア論 IV	色彩計画論 I 色彩計画論 II
卒業制作				卒業制作